



ニュースレターVol.09のお知らせ

平素より医局関連の業務や病診連携などにあたたかいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。第9回目のニュースレターをお届けいたします。今回も配信が遅れてしまい申し訳ありません。

昨年度は、当院では病院長の交代から一年を迎え、新体制のもとで病院全体が大きく動いた一年でした。病床稼働率90%を達成するなど、現場ではこれまで以上に慌ただしい日々が続きました。先生方におかれましても大変ご多忙であったことと存じます。

一方で、医療を取り巻く環境は依然として厳しく、働き方改革や人材確保、地域医療体制の維持など、さまざまな課題への対応が求められています。そのような中でも、各診療科や地域の先生方とのつながりに支えられながら、日々の診療を続けていけることのありがたさを改めて感じております。

さて、昨今はAIをはじめとした技術革新のスピードには驚かされるばかりです。医療の世界でも、診断支援や業務効率化など、少し前には想像できなかった変化が現実になりつつあります。ただ、その一方で、患者さんやご家族と向き合い、悩みや不安に耳を傾けるという医療の本質は、これからも変わらないのだろうと思います。

今後も、少し肩の力を抜いてお読みいただけるような話題や、日々の診療に役立つ情報をお届けしてまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

新入局者のご紹介

3年連続で当医局は2名の新入局者を迎えることができました。これも研修先の先生方の温かいご指導の賜物と思っております。

今後とも、研修医の教育を通して、脳神経内科の魅力を若手の先生方に伝えていただければ幸いです。



広瀬 悠理先生（令和6年卒）

神経内科専攻医1年目の広瀬悠理です。学生時代に、神経診察から病巣を推測できる神経内科の面白さに惹かれ、興味を持ちました。研修医として実際に学ぶ中で、その難しさや奥深さをひしひしと感じ、自分に務まるのかとても不安になることもありましたが、温かい医局の雰囲気にも惹かれ、ここで成長したいと思い入局を決めました。

まだまだ分からないことばかりでご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

山中 大季先生（令和6年卒）

専攻医1年目の山中大季です。岐阜県多治見市出身、浜松医大を卒業し、卒後も静岡県内で勤務を続けています。

2年ぶりに半田山の住民になりました。毎日折りたたみ自転車で通勤しています。さっそく4月から脳神経内科ローテーションが始まりました。患者さんとの面談、当番医師としての対応、外部への検査送付手続き、他病院での日当直など、まだ慣れない仕事に追われる毎日ですが、楽しくやれています。



脳神経内科の専門的なことはまだまだ勉強中で分からないことばかりですが、指導医の先生方に助けをもらいながら日々の勤務に励んでいます。

この一年で医師・脳神経内科医として着実に成長できるよう、日々研鑽を重ねてまいります。よろしく申し上げます。



人事異動とご挨拶

神村 純先生（浜松医療センターより）



本年度より浜松医科大学に勤務させていただくことになりました。これまで静岡赤十字病院、浜松医療センターにて、多くの諸先輩方にご指導いただきながら研鑽を積んでまいりました。昨年度、無事に神経内科専門医を取得いたしました。まだまだ未熟であり、至らない点やわからないことも多くあると実感しております。今後より一層、患者さんや地域医療に貢献できるよう努力してまいります。まだまだご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。



Goodbye, good luck, and take care.

武内 智康先生（聖隷三方原病院へ）



2014年より12年間、大学で勤務させていただきました。専門医取得に加え、生体機能イメージング研究室でイメージング研究に携わる機会をいただき、多くのことを学ばせていただきました。

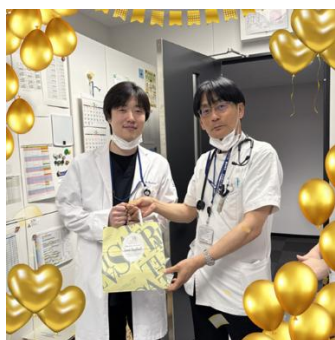
中村先生ご就任後は、そのお人柄もあり医局の雰囲気はより良くなり、医局員が増えていく様子を嬉しく感じておりました。そうした中で医局運営について一緒に考える機会も多く、貴重な経験をさせていただきました。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、この場をお借りして感謝申し上げます。

このたび、私の希望もあり聖隷三方原病院へ異動することとなりました。地域に喜ばれる医療を提供できるよう、研鑽を重ねてまいりたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

杉浦 秀則先生（浜松医療センターへ）

専攻医1年目の杉浦秀則です。特に浜松医大の先生方には様々迷惑をおかけしたかと思いますが、ご指導ありがとうございました。

来年度は浜松医療センターでの勤務となります。研修医として勤務させていただいた病院で少しでも力になれるように頑張っていきたいと思っております。



古橋 凱先生（焼津市立総合病院へ）

専攻医1年目の古橋凱です。出身ではない大学での勤務で初めは緊張もありましたが、教授を中心に先生方には優しくご指導いただいたおかげで、実りのある1年間になりました。本当にありがとうございました。来年度からは焼津市立総合病院での勤務となります。精一杯頑張るのでよろしくおねがいします。

2025年度の医局人事について

芹澤 正博先生 (静岡赤十字病院)

ご定年を迎えられました

大竹 悠介先生

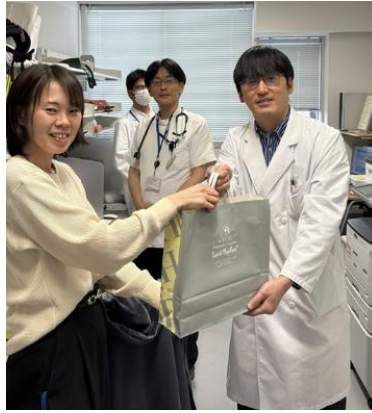
順天堂→天竜病院

神村 純先生

浜松医療センター→浜松医大

岡 耕太先生 (焼津市立総合病院)

ご退職



古橋 凱先生

浜松医大→焼津市立総合病院

杉浦秀則先生

浜松医大→浜松医療センター

山中大季先生

浜松医療センター→浜松医大

お知らせ

継続的な診療体制強化の一環として、本年度より当科の診療助教ポストが恒久枠として増設されました。

今後も、地域医療への貢献と診療・教育・研究のさらなる充実に努めてまいります。

竹ノ内晃之先生が本ポストに着任されました。これまでも大学院生として当科に所属し、外来診療や待機業務など診療面にも携わってこられましたが、今後はより一層、診療・研究・教育の各分野での活躍が期待されます。

医局説明会開催のお知らせ



当科に入局を考えている学生、研修医の皆様を対象とした医局説明会を下記の日程で開催します。終了後に懇親会も浜松駅周辺の飲食店にて開催します。平日と休日2回の開催を予定しております。内容は同じですので都合のつきやすい日程への参加を、各施設の若手医師にぜひとも勧めてください。宜しくお願い致します。

6月15日(月) 19:00~20:00

6月28日(日) 16:00~17:00

場所 遠鉄百貨店新館 13階 会議室



申込フォーム

今後の主な講演・活動予定

第20回 日本パーキンソン病・運動障害疾患学会コングレス (函館)

2026年7月18日

シンポジウム

「パーキンソン病治療における多角的アプローチ」

中村友彦

「パーキンソン病自律神経障害へのアプローチ」



第79回 日本自律神経学会総会 (金沢)

テーマ

「自律神経を測る — 検査から診療へ —」

【自律神経機能検査ハンドブック出版特別企画セミナー】

中村友彦

「臨床医のための自律神経機能検査」



第44回 日本神経治療学会学術集会 (東京)

メディカルスタッフレクチャー

中村友彦

「失神・めまい・立ちくらみ — 自律神経機能検査の実践 —」



ぜひ現地にご参加ください

市民公開講座開催予定

2026年9月27日に、パーキンソン病市民公開講座を開催予定です。

詳細につきましては、今後ホームページ等でご案内いたします。

お近くにご興味のある患者さん、ご家族がおられましたら、ぜひご紹介いただけますと幸いです。

学会主催のお知らせ

第260回 日本内科学会東海地方会

2026年10月4日

アクトシティ浜松コンgresセンター
(浜松市)

主催会長：中村友彦

演題登録期間：2026年6月9日（火）～
6月30日（火）23時59分まで

多数の演題応募をよろしくお願ひ申し上げます。

https://www.naika.or.jp/events/tokai_chk/event-161380/



第177回 日本神経学会東海北陸地方会

2027年3月20日

ウインクあいち（名古屋市）にて開催予定

主催会長：中村友彦



業績

論文

Kazuki Watanabe, Tatsuya Ema, Kenji Shimizu, Kosuke Yamada, Mitsuko Nakashima, Hiroto Saito. A Japanese familial spastic paraplegia associated with a missense UBQLN2 variant. *J Hum Genet.* 2025;70(12):645-648.

Sato K, **Bunai T**, Oda A, Ohba H, Sano Y, Tokui A, Tsukada H, Nishizawa S, Harada N, Ouchi Y. Biodistribution of [¹⁸F]BCPP-BF in humans: a first-in-human positron emission tomography study. *Nucl Med Biol.* 2025;144-145:109019.

小田 凌平, 武内 智康, 若月 里江, 渡邊 一樹, 中村 友彦.

Satralizumab導入後に抗薬物抗体が出現し生物学的製剤の変更を要した視神経脊髄炎関連疾患の1例. *神経治療学.* 2025;42(5):869-87.

若月 里江, 武内 智康, 岡 耕太, 竹ノ内 晃之, 渡邊 一樹, 中村 友彦.

脊髄MRIや髄液検査で異常を認めなかった抗myelin-oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体関連疾患の1例. *臨床神経学.* 2026;66(4):267-271.

著書・総説

中村 友彦. 自律神経疾患の治療の進歩. *神経治療学.* 2025;42(5):840-846.



国際学会

Oyama S, Fujii H, Komatsu M, **Nagashima Y**, Shirota Y, Kasahara A, Ueda M. A functional neuroimaging study of nighttime pedestrian visibility in automobile drivers. 2025 International Symposium on Automotive Lighting 2025. Frankfurt, Germany, 2025.

Kanoda M, Hayashi K, Tamura M, Toyouchi S, Nakase I, Tokonami S, Otubo M, **Nagashima Y**, Iida T. Light-induced Acceleration of α -synuclein Aggregation with Nanobowl Substrate. CLEO Europe 2025. Munich, Germany, 2025.

Takenouchi A, Kawano T, Watanabe K, Bunai T, Nagashima Y, Nakamura T.

Cerebral hypoperfusion and neuronal injury associated with orthostatic hypotension in Parkinson's disease: insights from wireless brain monitoring. XXVII World Congress of Neurology 2025. Seoul, South Korea. 2025.

学会講演・シンポジウム

中村 友彦. オピカポンがもたらすパーキンソン病非運動症状治療の新たな視点. 第78回日本自律神経学会総会 ランチョンセミナー. 2025年10月 (名古屋市)

中村 友彦. 病態からみたパーキンソン病の自律神経障害. シンポジウム4「神経変性疾患の病態を深堀する」. 第36回日本末梢神経学会学術集会. 2025年9月 (北九州市)

中村 友彦. パーキンソン病との上手な付き合い方. 難病医療従事者講習会. 2025年10月 (静岡市)

中村 友彦. その動き、もしかしてパーキンソン病? 第21回健康はままつ21. 2025年9月 (浜松市)

長島 優, 叶田 雅俊, 大坪 正史, 床波 志保, 飯田 琢也. 光濃縮技術を活用した神経変性疾患の診断・創薬の新展開. シンポジウム「光熱変換による物理化学と量子生命科学のイノベーション」. 第73回応用物理学会春季学術講演会. 2026年3月 (東京都)

一般演題

大坪 正史, **長島 優**. シヌクレイン凝集体の構造多型の多元的光計測と品質管理. 第48回日本分子生物学会. 2025年12月(横浜市)

大坪 正史, **長島 優**. 変異 α シヌクレイン凝集体の構造的多様性のラマン分光法による解析. 第68回日本神経化学会大会. 2025年9月 (名古屋市)



竹ノ内 晃之, **河野 達啓**, **渡邊 一樹**, **武内 智康**, **中村 友彦**. 起立性低血圧患者の脳血流変化. 第78回日本自律神経学会総会. 2025年10月 (名古屋市)

竹ノ内 晃之, **河野 達啓**, **渡邊 一樹**, **武内 智康**, **長島 優**, **中村 友彦**. 起立性低血圧患者の脳血流変化. 第19回運動障害疾患カンファレンス. 2025年7月 (東京都)

渡邊一樹, **河野達啓**, **竹ノ内晃之**, **武内智康**, 岡耕太, 鈴木洋司, 酒井直樹, **中村友彦**. 経過38年で診断された緩徐進行性SOD1-ALSの1例. 第172回日本神経学会東海北陸地方会 2025年6月 (名古屋市)

杉浦秀則, **古橋 凱**, **河野達啓**, **竹ノ内晃之**, **渡邊一樹**, **武内智康**, **中村友彦**. L型Caチャネル遮断薬により作頻度の増加と発作間欠期の筋力低下を認めた遺伝性低カリウム性周期性四肢麻痺の一例. 第174回日本神経学会東海北陸地方会. 2026年3月 (名古屋市)

渡邊一樹, **河野達啓**, **竹ノ内晃之**, **武内智康**, 岡耕太, 鈴木洋司, 酒井直樹, **中村友彦**. 経過38年で診断された緩徐進行性SOD1-ALSの1例. 第36回日本末梢神経学会学術集会. 2025年9月 (北九州市)

バックナンバーは医局ホームページにあります



2026.3月 脳外科・7東病棟との合同送別会が開催されました